

科目番号	49	科目名	里山学
英 文 科 目 名	SATOYAMA Studies: The sustainable interaction of nature and humans in landscape		
大学・短期大学名	龍谷		大学
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5		
	TEL :	077-543-7739	FAX : 077-543-7674
担 当 教 員	宮浦 富保 (全13名) (先端理工 学部 教授)		
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用
教 室 名		会場	
授 業 期 間	2022 年 4 月 11 日 (月) ~ 2022 年 7 月 25 日 (月) <毎週 月 曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00		
超過時の選考方法	書類選考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%
	そ の 他 (小 テ ス ト ・ レ ポ ー ト)	50・50	%
別 途 負 担 費 用	なし	あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	<p>レポートと小テストを併用して成績評価を行います。 講義担当者によって、レポートを課したり、小テストを課したりします。</p> <p>小テストが課されている場合は、すべてに解答してください。 レポート課題については、二つの課題(講義回)を選んで提出してください。 レポート提出の期限は、7月19日21:00です。</p> <p>小テストの百点満点に換算した得点平均値と、レポートの百点満点に換算した得点平均値を、小テストの回数とレポート課題の提示数で重み付けして成績を算出します。</p> <p>小テストの百点満点に換算した得点を x_i , レポートの百点満点に換算した得点を y_j とし、小テストの回数を m , レポート課題の提示数を n とすると、成績は次のように計算されます。 成績 = $(\sum x_i + n \sum y_j / 2) / (m+n)$</p> <p>注: レポート課題については、すべての課題ではなく二つの課題を選んで提出するため、このような計算になります。</p> <p>例えば、小テストが4回あり、それらの百点満点に換算した得点が70, 80, 90, 60 で、レポートの課題提示が11回で、提出した二つのレポートの百点満点に換算した得点が50, 80 だとすると、 成績 = $(70+80+90+60 + 11*(50+80)/2) / (4+11) = 67.6666\cdots$ となります。最終的な成績は、小数点以下を切り上げて68点となります。</p>		

<講義概要・到達目標>

■【講義概要】

里山は、人間が長期にわたって手を入れ、自然と多様な形で関わり、自然と共生することによって、人間同士との共存を可能にしてきた場所であった。日本の生物の多様性の一部は里山の存在によって維持されてきたということも明らかになりつつある。ところがエネルギー革命と農業革命のため里山は放置され、都市の膨張とともに開発のターゲットにされてきた。生物多様性を維持し、人間の生活を支え、日本文化の形成にも密接に関連していたと考えられる里山が失われようとしている。「里山学」では、里山の環境、動植物、歴史、里山と文化・制度との関わりなどについて、複数の教員が講義する。

■【到達目標】

里山といわれる環境について、その歴史や現状を理解し説明することができる。里山を代表とする身近な自然環境と人間との関係について、自分自身の意見を持ち表明することができる。

■【講義方法】

複数教員によるチェーンレクチャーであり、それぞれの教員ごとにいろいろな方法で講義する。

■【授業時間外における予・復習等の指示】

コロナ禍の状況により、授業の進め方を変更します。manabaの掲示板を利用して指示しますので、頻繁にチェックしてください。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月11日	里山の歴史と現状(宮浦富保)
2	4月18日	里山の環境倫理(村澤真保呂)
3	4月25日	染織文化をささえる有用植物(落合雪野)
4	5月2日	SDGsと里山(村澤真保呂)
5	5月9日	里山の所有と利用(鈴木龍也)
6	5月16日	里山と昆虫(太田真人)
7	5月23日	瀬田地域の里山の歴史(林珠乃)
8	5月30日	考古植物学から提案する新しい小麦生産(丹野研一)
9	6月6日	里山での児童・幼児教育(田岡由美子)
10	6月13日	里山とグローバル化(椿原敦子)
11	6月20日	里山が放置され、増える生きものと減る生きもの(須藤明子)
12	6月27日	食と文化(川西豪志・山崎英恵)
13	7月4日	人と自然の関係～森からの思想(帖地孝人)
14	7月11日	花粉で探る過去の里山環境(林竜馬)
15	7月25日	里山のバイオマス資源(宮浦富保)

<教科書・参考書>

■【テキスト】講義時間内に教員ごとに指示する。

■【参考文献】講義時間内に教員ごとに指示する。

丸山徳次・宮浦富保『里山学のすすめ』(昭和堂)2,310円 (ISBN:9784812207383)

丸山徳次・宮浦富保『里山学のまなざし』(昭和堂)2,310円 (ISBN:9784812209165)

村澤真保呂・牛尾洋也・宮浦富保『里山学講義』(晃洋書房)2,500円 (ISBN:9784771026339)